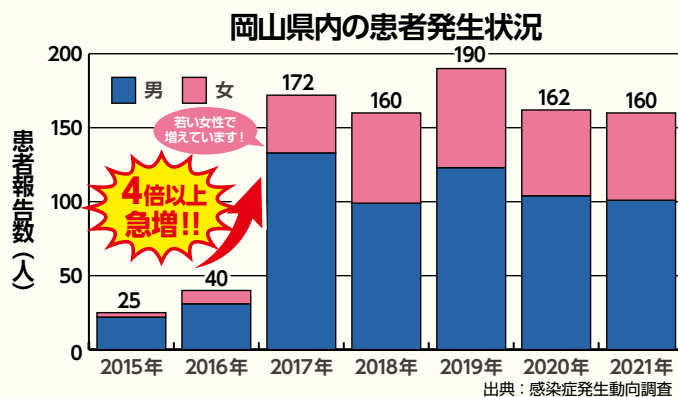


ばいどく 梅毒患者が増えています。

梅毒は性感染症の一種で、10年ほど前までは「過去の病気」のように思われていましたが、近年、国内での梅毒の患者報告者数が増加しており、岡山県でも急増しています。



梅毒ってどんな病気？

- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原菌が原因の感染症です。
- 感染すると、感染部位（性器など）にしこりができたり、全身に発疹が出たりします。
- 全く症状が現れないこともあるため、感染に気がつかないこともあります。
- 治療せずに放置しておくと、重症化するおそれがあります。

感染しないためには、何に気をつけたらいいの？

- 感染している人との性交渉（口腔性交や肛門性交を含む）などによって感染します。
- 性交渉時にコンドームを使用することで、感染のリスクが下がります。

感染したかもしれないと思ったら、どうしたらいいの？

- 感染の可能性があった日から十分な期間（約3週間）をおいて、血液検査（抗体検査）を受けましょう。
- 検査は、保健所で無料（匿名）で受けることができます。（要予約）
- 症状がある場合は、すぐに病院を受診しましょう。

梅毒に感染してしまったら、どうしたらいいの？

- 梅毒に感染しても、抗菌薬できちんと治療すれば治ります。
- パートナーにもうつしている可能性があるため、検査を受けてもらいましょう。
- 再び感染する可能性があるため、予防することが大切です。

梅毒について
詳しくはこちらへ



岡山県ホームページ

梅毒を知って
予防しましょう！



©岡山県
「ももっち・うらっち」